６年　社会科	縄文のむらから古墳のくにへ	６年❶
目　標	縄文時代と弥生時代の変化に着目し、弥生時代に戦いが始まった理由を考えることができる （思考力、判断力、表現力）	
使用したICT機器類・教具等	大型テレビ、ノートパソコン	
思考ツール・プログラミング	アンプラグドプログラミング	

◆プログラミング的思考とのつながり

・二つの時代の様子をベン図にまとめることで相違点に着目し、時代の変化について気がついたことを整理する。

◆授業の実際

１　前時に一人調べをしたワークシートで確認しながら、気がついたことを発言する。

○板書では衣食住でカテゴリー分けしてベン図にまとめていくことで、生活の様子を整理して考えた。

○どの子もワークシートで一人調べがしっかりできていたので、発言がだんだんと増えていった。また、つけたしをしたり、同じ考えでも言葉を変えて発言したりする姿が見られた。

○「住」について話し合った際、集落のまわりの溝について、敵から守るため、災害対策、食料の貯蔵用などたくさんの意見が出た。

２　弥生時代に戦いが始まったのではないかという意見が増えたところで、戦いの様子を資料で確認する。

○「ひどい」「弓がたくさん放たれている」と、予想以上の戦いの激しさに驚いた様子を見せていた。

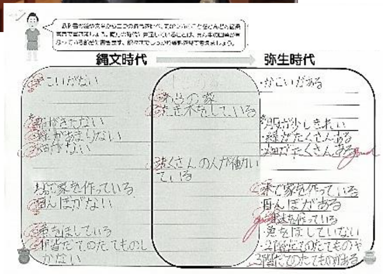
○なぜ激しい戦いが始まったのか疑問に思う子が出てきた。

３　なぜこのような激しい戦いが始まったのかグループで話し合う

○板書のベン図で相違点を確認しながら考えることで、考えを整理し、米に着目できたグループが多かった。

○全てのグループの意見から、①収穫した米の奪い合い②米の育つ土地の奪い合い③農具の奪い合い、という３つのポイントを押さえてまとめることができた。

○身分が分かれていたのではないかなど、他にも気がついたことから課題をもち、次時への意欲を高めて授業を終えた。



［　ベン図のワークシートをもとに発言　］

［　ベン図を確認しながら話し合う　］

◆実践を通して

・前時に一人調べをした際、読み取ったことをベン図にまとめたことで、時代の相違点を視覚的に整理しながらとらえることができた。本時での発表の前に、子どもたちが自分のワークシートを衣食住で色分けする時間を設けておくと、子どもたち自身の力で二つの時代をより整理することができたのではないかと考える。

・板書を工夫し、構造的なものにすることで、授業の流れをわかりやすくできるとよかった。戦いが始まった理由を聞く際、ホワイトボードを貼るのではなく、クラゲチャートのような形を利用してまとめたり、板書のベン図と「なぜ戦いが始まったのか」という主発問を、流れのわかるフローチャートのような形にまとめたりする方法が考えられる。